

年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2023年 4月 3日
- 事業名 : 食と職をつなげる高校生起業塾
- 資金分配団体 : NPO 法人北海道 NPO ファンド
- 実行団体 : NPO 法人のこたべ

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
No1「生産者の営み体験」: 地元の高校生が都市部の大学生とともに、地元の生産者のもとで一次産業を体験し、生産者の暮らしや営みを知り、これまで感じてこなかった刺激を受ける。	生産者の元へ訪れた高校生と大学生の数	2022 年度関わった高校生 20 人 2023 年度関わった高校生 50 人	2024 年 3 月	2022 年度関わった高校生 20 名前後(生産者バスツアー企画と商品開発企画)	2
No2「地元商品開発・広報・販売」: 高校生自らが大学生などのメンターとともに考案したコンセプトをもとに、地元の食品などのリソースを使って商品開発を行い、メディアを使用した広報、地元商業施設での販売を通して、～18 歳（高校生）が地元にいるロールモデルとなる大人と協働する。 また、0 から 1 を作り出す過程を通して、主体性を身につける	商品開発過程において関わった地元のステークホルダーの数	2022 年度ステークホルダー15 名 2023 年度ステークホルダー20 名	2024 年 3 月	2022 年度ステークホルダー20 名、団体以上	1

<p>No3「地域デザイン塾」：若者自らが開発した商品のプロモーション過程などにおいて必要な知識を、地元の様々な分野のプロフェッショナルから教わり、知見を広げ学校で学ぶ5教科に留まらないスキルを身につける。</p>	<p>講義を開催した地元のプロフェッショナルの人数 若者に向けて開催した講義数 講義の参加者の数（高校生に限らない）</p>	<p>2022 年度プロフェッショナル 5名 講義数 5 参加者数 25 2023 年度プロフェッショナル 10名 講義数 10 参加者数 40</p>	<p>2024 年 3月</p>	<p>2022 年度プロフェッショナル 5名 講義数 5 参加者数 40 名弱</p>	<p>2</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------	-----------------------------------------------------	----------

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

<p>1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み</p>
<p>1.達成の見込み</p>
<p>2.アウトカムの状況</p>
<p>A：変更項目 <input type="checkbox"/>変更なし <input checked="" type="checkbox"/>短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/>短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/>短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/>アウトカムの目標値</p>
<p>3.(任意) 活動に関する報告</p>
<p>2022 年度も、事業活動としては非常に充実した年度になりました。1 年間をかけて商品開発を行うという事業プランを組んでおり、当初の半年間は参加高校生に地元の生産者を知ってもらうために、参加高校生と地元の生産者を訪れる生産者バスツアーを開催し、その後ではメンターとして関わる地元の大学生も含めた大学生リーダー研修を行い、後半の半年間に関わる高校生と大学生のメンバーを中心として商品開発の土台を固めました。年度後半では「淡水コース・梅コース・たらこコース」の3コースに分かれて地元の生産者、料理人、食品会社等さまざまなステークホルダーと協働し、道南の特産品を使用した商品を3商品開発し、無印良品や函館フードフェスタといった商業施設、イベントでの販売体験も行いました。この過程を通して、参加高校生や大学生は地元で地元のリソースを使い事業を行うという過程を</p>

体現し、年度末に一般向けに開催した成果報告会では、参加高校生のほとんどが「地元が好きになった」「地元でこんなことができるなんて知らなかった」「地元を誇りに思うことができるようになった」といった声をあげていました。

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
 報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2. 広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

別途 PDF にて提出

2.広報制作物等

別途 PDF にて提出

3.報告書等

別途 PDF にて提出

3. イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

・8/7-8/9 大学生リーダー研修 参加者 10 名弱

高校生との商品開発事業を行う前に、札幌や函館の活動に興味のある大学生で地元の生産者、食品会社や商業施設を訪れ、商品開発を行うためにステークホルダーと事業内容について協議を行いました。また、3日間の間にワークショップも数回行い、高校生が自らの力で学びを深めていくためにはどのようなアプローチをしていくべきか、そして大学生自身がどのようなモチベーションで参加しているかの再確認なども行いました。

・8/8 高校生バスツアー 参加者 15 名

合宿 2 日目には大学生だけではなく、地元の高校生も交えて生産者を訪れるバスツアーを行いました。バスツアーでは高校生が生産者と出会い、仕事を手伝ったのちに、地元の生産者の思いや哲学を共有してもらい、道南主要産業である農業に実際に関わる大人から話を聞き、それぞれの高校生が多くのことを学んでいました。

・ 9/17-19 フリーペーパー製作合宿 参加者 10 名弱

バスツアーに参加した高校生の中から特に興味・関心の強かった高校生が主に参加しました。今年度の事業の 1 つであった地元の生産者やステークホルダーを取材したフリーペーパーを製作するというので、合宿内では高校生が自ら取材や体験を行い原稿を作成しました。(編集は外部委託)

・ 10/10 七飯町三嶋神社マルシェ 参加学生 5 名弱 来場者 100 名以上

商品開発プログラムに参加している高校生と大学生のうち数名が、実際に商品の販売体験を行う場として、またイベントを作ることの空気感を感じてもらうために開催しました。七飯町の三嶋神社が地元の事業者などを集めて人が集う場を作りたいという思いを持っていたため、のこたべが仲介となって各出展者の手配、当日の運営等を行いました。参加学生は地元の生産者から仕入れた野菜を販売し、冬に控える商業施設での販売に向け経験を積みました。

・ 12/10 商品開発試作会 参加学生 10 名弱

商品開発における各コースの試作

・ 12/11 地域多世代交流おにぎり作りイベント 参加者 20 名

食に焦点を当てたイベントで、地域の食材がどのように生かされ、それが地域を豊かにすることを参加者に感じてもらうことをメインとしたイベント。

・ 1/15 無印良品商品販売会 参加学生数 9 名 (高校生 5 名、大学生 4 名)

開発した商品の販売会を函館無印良品にて開催。高校生自らがどのように商品を販売したら魅力が伝わるかを試行錯誤し販売しました。そういった試行錯誤の結果、午前中に全ての商品が完売するという盛況ぶりでした。

・ 2/27 函館フードフェスタでの販売会 参加学生数 6 名 (高校生 2 名、大学生 4 名)

無印良品での販売会とは異なり大型冷蔵庫が使用できなかったため、冷蔵が必要ない形での販売方法を模索し販売。こちらも昼過ぎには商品が完売しました。

3/5 成果報告会 参加者 20 名程度

参加高校生、大学生がこの事業に参加してからの心情の変化、経験、成長したと感じたことなどを自らの言葉で語ってもらいました。当日は実際に開発した商品の販売も行いました。成果報告会を通して、道南での活動知名度、一部分で関わったステークホルダーへの報告、そして参加学生の学びの振り返り、再確認を行いました。

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）









④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input checked="" type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日： 来年度にホームページリニューアル予定のため。公開予定日は未定。
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：